

変革2027を踏まえた

新たなジョブローテーションに関する解明申し入れ(その2)

団体交渉終了

【安全関係2】

| 組 合 | 会 社 |
|--|--|
| 車掌を経験しない運転士の研修については現行と中身とは変わってくると思うが。 | 運転士の研修は、あくまでも技能試験を取るためのカリキュラムになっているので、 <u>車掌経験の有無に係わらず同じになる</u> と考えている。 |
| 研修も複数回に分けてと言っていたが、研修の時期は変わってくるのか。 | 調整中の段階なので示すことはできないが、より安定的な養成計画をしていきたい。今のよう な 年に1回だと硬直的な運用になってしまう。 |
| <u>車掌を経験しない場合の訓練で何か考えていることはあるのか。</u> | 各区所にシミュレーターも入っているので車掌の基本的なことはできると考えている。個々の能力次第で補えると考えている。 <u>運転士になった後に車掌を経験したい</u> というのであれば、 <u>区所の中の考えになる。</u> |
| それは体験という意味か。 | 様々な経験が各区所で行えるということ。現行の運転士も車掌はできるとなっているが、 <u>運転士から車掌になる場合は必要な教育は行う。</u> |
| ある意味では、柔軟に対応するためということか。 <u>そのための乗務係への統一なのか。</u> | <u>今でも運転士の業務に車掌業務も入っている</u> ので教育すればできると考えている。 |
| 必要な教育というと抽象的過ぎる。具体的には。例えば、何故同じ期間できるのか。 <u>教育時間は伸びないのか。</u> | 教育のやり方は色々ある。 <u>運転士研修の運転法規は幅が広いので車掌として求められる運転法規は十分にあるので勉強できる。補完できる。</u> |
| <u>現行の考え方だと車掌経験の有無に係わらず全く一緒ということか。</u> | 会社によってはそもそも車掌がない会社もある。同じカリキュラムで運転士をやっている。例えば青い森鉄道とか仙台空港鉄道は、当社と同じカリキュラムをやって単独乗務している。 <u>当社ではどういう教育をどれくらいやればよいかは今後の精査になる。検討している。</u> |
| <u>混み運用の指導員や教育・訓練の考え方は。</u> | 各区所の状況も違うし、 <u>指導員の関係は将来の検討材料だと思う。業務量を見て配置する。</u> |
| <u>プロの育成が難しくなると思うが。</u> | 様々な経験を積むことでプロは創れる。 |